

# Workshop

## 日本の文学理論・日本文学を理論する

平成29年2月20日、月曜日、13時－18時

Institut für Japanologie 日本学研究所 教室136番  
Akademiestr. 4-8, 69117 Heidelberg

### 13:00 文学理論アンソロジーの諸問題

大浦康介 (京都大学): 「『日本の文学理論』プロジェクトの概要と国内外での反響」

Asa-Bettina Wuthenow (Heidelberg): 「『文芸的な、余りに文芸的な』 — 最近イタリアで出版された評論集 *Letterario, troppo letterario* をめぐって」

### 14:00 文学とは何か？

久保昭博 (関西学院大学): 「文学の制度とその外部 — 日本近代における文学の起源・発生をめぐる言説」

Wolfgang Schamoni (Heidelberg): 「日本十七世紀の自伝をたずねて — ジャンルの文学史を考えて」

15:00 コーヒーブレイキ

### 15:30 虚構論

高橋幸平 (同志社女子大学): 「日本近代の小説論と虚構観」

Simone Müller (Zürich): 「『和泉式部日記』における虚構性 — "Fictivity" と "Fictionality" を中心に」

### 16:30 古典文学と現代文学理論

Sebastian Balmes (München): 「『土左日記』の語り手と視点 — ナラトロジーの方法による一考察」

Judit Árokay (Heidelberg): 「古典研究と文学理論: ドイツの日本古典文学研究会の活動について」

討論

Institut für Japanologie  
Institute of Japanese Studies

日本学研究所

RUPRECHT-KARLS-  
UNIVERSITÄT  
HEIDELBERG

